



陽光

Vol.13
通巻 89号

お正月とオセロと井筒屋

お正月と言えば…。凧揚げ、羽根つき、百人一首、福笑い等々伝統的な遊びがあります。時代の移り変わりでしょうか、お正月の遊びも多様になりました。室内で出来るゲーム機は、進化の一途をとげており、みんなでできる遊びとなっています。

様々な遊びがある中で、当会は茨城県水戸市が発祥の地であるオセロを活用して、正月行事を企画しています。老若男女を問わず、また、笠間焼工房「陽(yoo)」のお昼休み時間に将棋やオセロを打つ姿もあり、日頃の成果を発揮する日としてお正月にオセロ大会を開催しました。

予選は水戸地域、笠間地域に分かれて行いました。決戦の場は、歴史的な建築物でもある「かさま歴史交流館井筒屋」を設定しました。水戸地域の勝者は、いざ笠間へと優勝賞品のうなぎ食事券をかけ決戦の舞台にたちました。笠間地域からは応援者も駆けつけ、緊張感のある決勝戦となりました。結果は、P.2~3に示す通りです。

お正月と言えば…。必ずしもオセロとは限りませんが、何気なく過ぎていく時間の中で、遊びを通して節々を感じる、感じられる時間を作り出す支援課題です。

たかがオセロというなかれ。付け焼刃でペアを組んだスタッフ組がこてんぱんにやられました。定石、戦法が多々あり奥深いゲームです。 (生活支援員：檜山 郁)



かさま歴史交流館井筒屋
明治中期建築の木造三階建の旧井筒屋本館を、東日本大震災被災後改築しました。
笠間の歴史展示室の他、市民の交流の場として会議室、和室の使用ができます。